

平櫓と不開門

2016 年の地震以前、2 つの天守の隣には、城の北東の隅にある高さ 18m の石垣の上に平櫓（平屋建て）が建っていました。しかし、地震の影響でその下の石垣が座屈し、建物が大きく傾いてしまいました。建物は保存するために解体されました。平櫓の左奥には、江戸時代（1603–1867）の櫓門で唯一現存する不開門があります。伝説によると、この門は北東から来ると考えられていた悪霊を追い払うために閉ざされ、死体などの穢れたものを城外に運び出す目的に限って開かれたといいます。従来は保管庫として使われていた門の上階が地震で倒壊してしまったため、建物は解体され、修復が待たれています。